

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月26日更新

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名 内田 秀一郎
	施策	4	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名 坂田 寛之
	基本事業	12	公共交通の利便性の向上		所属班	政策企画班	(内線) 1253
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11465	法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定した合志市地域公共交通計画に定めるさまざまな実証実験を、平成21年度から平成23年度までの3カ年間に亘り、国の補助(1/2)を受けて実施する事業である。 平成21年度には循環バス、環状バス、温泉直行バス、乗り合いタクシー、パークアンドライドの実証実験を実施した。その実験結果に基づく新たな取り組みとして、平成22年度は循環バスと環状バスを組み合わせたコミュニティバスと、路線を絞り込んだ乗り合いタクシーの実証実験、運行体制を強化するための小型バス(レターバス)2台の購入、熊本電鉄新須屋駅におけるパークアンドライド事業を継続して実施した。 平成23年度は、年間を通じたコミュニティバスの運行実験や乗り合いタクシーの実証実験を行なった。 平成24年度は、レターバス増便や老朽化したバス停留所標識の取替え等を行ない、利便性の向上を図ることとする。
【業務の流れ】	総合支援委託業務契約事務、協議会における平成24年度本格運行へ向けたコミュニティバスや乗り合いタクシーの再編及び利用促進策などの審議、運輸局への路線変更申請、啓発用ポスターやチラシの作成配布及び各地区への出前講座等による説明、実証実験進行管理(事業者による実績報告や協議会への経過報告など)、実績に基づく運行委託料支払事務
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、需用費、役務費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・合志市における地域公共交通ランドビジョンの必要性や、市財政状況を踏まえ、どこまで市が経費を負担して地域公共交通を維持するのか、運行に関する収支率や運賃改定について市議会や地域公共交通協議会から意見をいただいている。 ・須屋地区へのレターバス乗り入れを求める要望がある。 ・タクシー事業者から「レターバス運行によりタクシー利用者が減り収入が減った」という苦情があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・循環バスを再編し、環状コース(レターバス)を追加したコミュニティバスやレターバスへの結節運行を目的とした乗り合いタクシーの実験運行を行うとともに、コミュニティバスや乗り合いタクシーの啓発活動を行なった。また昨年度からパークアンドライドの実証実験を継続実施した。	・レターバス増便(5→6便)や乗り合いタクシーの継続運行、熊本電鉄新須屋駅におけるパークアンドライド事業の継続実施を予定している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 計画された実証実験事業の件数	地域公共交通計画事業総合支援業務見直しによる減
イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・公共交通事業(実証実験)	(単位) 件
	→ ア: 公共交通事業(実証実験)
	イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・円滑に実施される	(単位) 件
	→ ア: 計画された公共交通事業の実施件数
	イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
・計画された公共交通事業が円滑に実施されたかを指標とした。目標値は未実施の実証実験である「行事別乗り合いタクシー」と「企業通勤バス共同運行」の2事業を実施する予定で設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 87,091	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
① 活動指標	ア	件	10	10	10	10	10	10	10	10
	イ									
② 対象指標	ア	件	10	10	10	10	10	10	10	10
	イ									
③ 成果指標	ア	件	7	8	10	10	10	10	10	10
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		1,302	1,300	1,879	1,400	1,300	1,300
		地方債	千円							
		その他	千円	7,128	9,656	10,000	21,652	4,086	5,000	5,000
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	8,961	58,593	36,826	22,716	42,207	38,700	38,700
		(A) 事業費計	千円	16,089	69,551	48,126	46,247	47,693	45,000	45,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	22	48	45	25	25	25
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	93	22	48	45	25	25	25
		正規職員従事人数	人	4	5	4	3	6	6	6
延べ業務時間		時間	1,300	1,447	1,200	1,267	1,200	1,200	1,200	
(B) 人件費計	千円	5,174	5,961	4,944	5,116	4,944	4,944	4,944		
トータルコスト(A)+(B)	千円	21,263	75,512	53,070	51,363	52,637	49,944	49,944	49,944	

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 当初は実証実験として（平成21年度～平成23年度）本事業を実施していたが、平成23年度に新たな国庫補助が制定されたため（平成23年度は旧国庫補助経過措置対応）平成24年度からは本格運行とし国庫補助を活用することとした。なお、本格運行とすることにより平成24年度は成果指標や目標値を新たに設定し、成果の向上を目指す。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度からは本格運行とするものの、今後もルート変更及増便等の利便性向上のための取り組みを行うことにより成果の向上を目指す。なお、平成24年度は本格運行とすることにより成果指標や目標値を新たに設定する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 民間事業者が運行しない区域を運行しているものであり、公共交通空白地域をカバーする事業主体は、今のところ市以外にはないため
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 利用者数を成果とした場合、運行経費の削減は利用者数減少に直結する。そのため、運賃収入（運賃値上げ）やその他の広告収入の増収を図ることにより、事業費の削減は可能である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 限られた業務時間（人件費）を有効に利用できるよう、他の事務事業の効率化を図り、公共交通の充実に直結する本事務事業に業務時間を重点的に配分している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 実証実験は全市民を対象としており公平である。しかし、運行経費に対して料金設定が適正であるか問題があるため、平成24年度以降のコミュニティバス運行に係る料金設定については、地域公共交通協議会において検討する。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 民間バス事業者が運行しない区域において地域公共交通を維持する者は、行政以外にはない。しかし、NPOなどが実施主体となり地域公共交通を運営している事例もあるため、今後検討を行う。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

地域公共交通計画で予定していた実証実験は、平成23年度までの本事務事業においてすべて実施した。本事務事業の目的は達成できたが、新たな課題（運行ルートや運賃の見直し）も出てきたため、平成24年度以降も現在の交通体系を維持、発展させながら課題の解消に向けた試行運行を行なうこととした。また、広域的な課題に対しては、熊本都市圏協議会公共交通作業部会を平成23年10月に立ち上げ、今後検討を重ねていく予定である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>有効性改善については、運行ルート及び増便等の利便性向上の取り組みを行なうことにより、成果の向上が見込まれる。また、運賃収入 (運賃値上げ) や広告収入等の増収を図ることにより、事業費の削減は可能であり、効率性改善につながる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						